

編集後記 臨床文藝医学会編集室

私たちの機関誌発行も今年で3年目になる。今年度からは機関誌を会員限定で販売することにした。

NPO法人は営利目的ではないが、収益をあげてはならないわけではない。収益がなければそもそも持続した活動ができないという活動もある。だからNPO法人は非営利だが、活動を持続するために収益を得ることは何も問題ではない。ただ収益事業をする場合には、届出が必要となる。手続きもかなり面倒で年間7万円程度の法人税も払わねばならなくなる。私は事務手続きが苦手なので、役所への諸手続きも毎年4.5万円で委託しているが、その委託料も収益事業となれば15万円/年になる。ということで毎年何もしていなくても収益事業を始めることで毎年22万程度のコストがかかることになる。そうした手間やコストも考えると、会員限定での販売が妥当だろうという話になった。

販売価格はどうするか？私にはNPO法人がいずれは自立できるようにという自立支援も念頭にあり、1500円程度であれば、年間4.5万円の赤字もカバーできるだろうと当初考えていた。だいたい50~100部刷れば150ページ程度として1冊あたり700~800円程度のコストとなる。そうすると1500円で販売すれば70部売れたら5万程度、80部で6万程度、90部で6.8万程度、100部で7.7万程度の収益が見込めるだろう、そうすれば少し黒字にな

り、あわよくば活動のための資金にも使えるだろうと想定していた。活動資金といっても漠然としているが、今のところたいして出費があるわけではないけれど、もし資金があれば子ども食堂など食費や経費に回せればということを考えていた。

そういうことを考えていたのだけれど、理事長曰く「高い」とのこと。1500円は高いから、ということで1冊1000円にしようという話になった。しかも送料もこちらで負担すると。1000円で送料も負担するとすれば、レターパックの送料が370円なので1冊70~170円(計7000円~8500円)赤字となる。1冊あたり625円となる160部を超えてくるあたりからようやくプラスに転じるが、そこまで売れることはないだろう。というよりも、発送は私がほぼ一人でやることになり、協力が得られるとしても理事長と副理事長でせいぜい2~3人なので注文が多すぎても困る、手が回らなくなる。

入会された年はその年度の機関誌は無料で差し上げる。正会員なら入会金と年会費あわせて1500円、賛助会員なら1000円なので、機関誌購入希望者は賛助会員のほうに登録いただければお買い得です。

機関誌の目的は広報と収益二つあって、どちらを優先するかという視点で考えたときに私たちはまず広く知っていただくほうをとった。一時の熱狂や自己満足で終わらせないようにしたい。

最近始めたYouTubeチャンネルも広告が邪魔になるので「収益化」はこのまましないほうがよいだろう。(2023.5.29)